教育現場でのロボット活用を円滑にする教員用システム

ジメネス フェリックス (中京大学大学院) 加納 政芳 (中京大学)

開発の背景

Oh-Hun et al, 2010



三宅,2011



近年、教育現場で活躍する教育支援ロボットの 研究・開発が始まっている

ロメリット

- 学習者に動機づけを与える(神田ら,2004)
- コンピュータによる学習よりも英語を効果 的に学習できる(Jeonghye-Han et al, 2008)

ロデメリット

複数のロボットに対して個々に通信する ことが難しい(Oh-Hun et al, 2010)

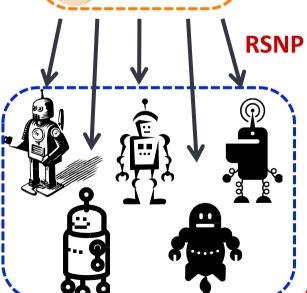


ロボットの行動指示が難しい

提案システム

Server Side





Robot Side

RSNPを用いてロボットの行動指示と 学習者の状況把握を行う教員用システムを提案

4 教員用システム (Server Side)

- 教員は指定されたURLに接続して、学習者の 学習状況を確認できる
- 教員学習状況を確認しつつ、次学習の学習項目およびロボットの行動を指示する

ロ教育支援ロボット(Robot Side)

- 学習が始まる前に、RSNPを用いて、サーバ から指示された行動を受信する
- 学習が終わると、RSNPを用いて、学習者の 成績をサーバに送信する



本システムを用いることで

<u>教員は複数の学習者の学習状況の把握と</u> 複数のロボットに対して個々に行動指示できる